П						٠, ١			
と	1)	は	さ	お		き	()	個	
思	`	`	ま	()	()	ま	۲	性	資
11	お	そ	ざ	7	0	す	が	を	料
ま	た	j	ŧ	`	意	0	大	持	1
す	が	L	な	۲	見		切	っ	•
0	1,	た	個	て	は		だ	て	2
	0	世	性	ŧ	`		۲	()	か
	ょ	界	を	重	グ		1,	る	ら
	1,	\mathcal{O}	ŧ	要	口		j	が	は
	面	人	つ	だ	1		意	`	`
	を	R	た	۲	バ		見	そ	人
	尊	2	人	思	ル		を	0	間
	重	ŧ	が	1,	化		読	ち	は
	L	積	1,	ŧ	が		4	が	そ
	あ	極	ŧ	す	進		取	1,	N
	え	的	す	0	6		る	を	ぞ
	N	に	0	世	だ		()	認	N
	ば	か	わ	界	現		2	め	ち
	()	か	to	10	代		が	合	が
	()	わ	L	は	15		で	う	ì
200					100			, ,	

解説

二つの資料から「共通した意見」を読み取りましょう。資料 I の「自分と意見が違う人に対しても、できるかぎり尊重しなければならない」「意見が違うことを認識し、どうすれば良いかを考えることに価値がある」という部分から、意見の違いを認めることが大切だという意見を読み取ることができます。また、資料2の「みんなちがって、みんないい。」という部分からも、違いを尊重しようとうい意見が読み取れます。この意見について、あなた自身の考えを書きましょう。賛成、反対というだけでなく、自分自身の意見としてくわしく書くことがポイントです。